



大阪府立

令和8年3月31日号

豊中支援学校 校長だより

発行者 校長 上田 敬三

早朝の本校運動場では、ウグイスの綺麗な鳴き声とともに木蓮の白い花を愛でることができ、本格的な春の訪れを感じます。保護者の皆様におかれましては、今年度も本校教育活動へのご理解と、多大なご支援ご協力を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。

今月6日に挙行了しました高等部の卒業式以降、10日に中学部、13日に小学部の卒業式を執り行い、卒業学年の児童生徒が次の学部や新たな学校、次のステージへと巣立っていきました。

その後、3月24日に令和7年度修了式を行いました。卒業学年の児童生徒がいなかったせいか、体育館に集まった子どもたちは幾分静かなようすが見受けられましたが、校歌の時には館内に子どもたちの声が響き、メロディに合わせて体を揺らしたり、校歌が終わると自然に大きな拍手が沸き起こったりしました。始業式や終業式の経験を重ね、子どもたちは自然体で本校の式典に臨めているようです。

また、式の最中やその前後に子どもたちに目を向けると、友だちを思いやる行動や言葉かけ、教員との微笑ましいやりとりなどが見られ、子どもたちの関係性がより広がり、深まっていることを感じ、子どもたちの成長を実感したところです。

在校児童生徒も4月には進級し、新たな環境、新しい友だちや教員と出会い、新年度の学校生活がスタートします。

引き続き、令和8年度も安全安心な学校生活を送れるように教職員が一丸となって取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、令和7年度の1年間を振り返りますと、本校は全府立支援学校45校2分校において最多となる449名（小164名、中161名、高124名/令和7年4月1日時点）の在籍数でスタートしました。在籍者の9割以上が通学バスを利用していることから、子どもたちの登校のようすなどを直接把握するため、全ての通学バスに乗らせていただきましたが、「初めまして♪」と初対面の挨拶をすると、多くの子どもたちが「!?!?!」と驚き、戸惑ったようすでした。乗車中の子どもたちの状況はもとより、バス停の設置状況や各路線の交通状況、運転手さんや介助員さんが安全運行のために最大限の配慮をしてくださっていることなども把握でき、多くの学びや気づき、課題などが得られた貴重な機会でした。

また、通学バスに関連した試験的な取り組みではありますが、本校生徒の作品から生まれたキャラクター「とよピカ・トヨスケ・ナナカ」が、バスラッピングとして



通学バスの車体後部に登場しています。豊中市内を南北に縦走する4号線ですので、多くの方にご覧いただけるものと思います。

(学校ブログにも掲載！)

令和8年度の通学バスの運行台数は、今年度と同じく、17台を予定しています。



ナナカ ・ とよピカ ・ トヨスケ



毎日子どもたちが食べる給食においても、食物アレルギー事故防止のために、保護者と学校が原材料に係る情報を共有して連携を図り、児童生徒の健康と安全を徹底して守ることに取り組んでいます。食物アレルギーの対象となる食材を含む給食が提供される当日の朝は、必ず職員朝礼において、該当する児童生徒名を共有し、事故防止に努めています。このような対応は給食に限らず、調理実習等においても同様ですが、校外学習・泊を伴う行事等において喫食を伴う場合は、さらに注意が必要です。今後も、食物アレルギー事故防止のため、ご理解とご協力をお願いいたします。



令和8年度の入学児童生徒は、小学部 24 名、中学部 64 名、高等部 43 名の見込み（令和8年3月31日時点）で、全体の在籍数は幾分減少しますが、依然として「過密化・狭隘化」の対策が必要であるため、令和7年度中に普通教室を各学部1教室増やす工事を行っています。

加えて、校内教育環境改善の観点から、小学部の中庭に設置されていた遊具類（ブランコ、滑り台、シーソー等）を撤去し、新たな遊具類を設置する工事を進めています。何が完成するかは新年度のお楽しみに♪

